

■一般目標 (GIO)

ワンピースキャストによる金属床義歯の金属フレームワークの製作法を理解する。支台装置と連結子を中心に金属床の製作を行い、必要な知識を理解するとともに技工操作を身につける。

■到達目標 (SBOs)

- ・金属床義歯の製作に必要な作業用模型製作法の技工操作を習得することができる。
- ・金属フレームワーク製作に必要な技工操作を習得することができる。
- ・遠心加圧吸引鑄造機による鑄造法について習得することができる。
- ・金属フレームワークの研磨法を理解することができる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学(医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：木曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 木曜日・17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価(100%)し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間(1時間程度)を充てて予習を行うこと。

■実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学(部分床義歯技工学)(1年)

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 10月14日 市川 裕美 山本 哲也	1. 咬合採得 2. 作業模型の咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内で歯科医師が行う咬合採得の重要性を理解することができる。 ・口腔内で咬合採得された咬合堤を用い、上下顎の模型を咬合器に装着する術式を修得することができる。 ・口腔内で歯科医師が行う咬合採得を顎歯模型上で体験し、重要性を理解することができる。 ・顎歯模型上で咬合関係を採得した咬合堤を用い、上下の模型を咬合器に装着する術式を修得することができる。
第2回 10月21日 市川 裕美 他	3. 金属床義歯の製作(1) 1) 人工歯排列 2) 咬合調整 3) 歯肉形成	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯における人工歯の排列法について修得することができる。 ・部分床義歯における咬合調整法について修得することができる。 ・歯肉形成の術式を修得することができる。
第3回 10月28日 市川 裕美 他	3. 金属床義歯の製作(2) 1) 人工歯排列 2) 咬合調整 3) 歯肉形成	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯における人工歯の排列法について修得することができる。 ・部分床義歯における咬合調整法について修得することができる。 ・歯肉形成の術式を修得することができる。
第4回 11月4日	4. 金属フレームワークの製	・金属フレームワークの特徴について理解するこ

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
市川 裕美 他	作(1) 1)サベイイング 2)設計	とができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・サベイヤーの使用方法を習得することができる。 ・レストの種類および近遠心レストの違いについて理解することができる。 ・金属フレームワークの設計において義歯の着脱方向、大連結子の目的およびその走行位置と形態について理解することができる。 ・支台装置の設計において、16 15に双子鉤、24 に R・P・I 鉤を設定し、そのクラスプの働きを理解することができる。 ・小連結子について理解することができる。 ・隣接面板について理解することができる。 ・ブロックアウトについて理解することができる。 ・リリースについて理解することができる。 ・ビーディングについて理解することができる。 ・サベイヤーの使用法を習得することができる。 ・金属床の外形線について走行位置と記入法について習得することができる。 ・サベイラインを基準にクラスプの外形線について走行位置と記入法について習得することができる。 ・金属床の製作に必要な作業用模型製作法の技工操作を習得することができる。 ・線鉤屈曲および鑄造鉤のワックスパターン形成に使用する作業用模型製作法の技工操作を習得することができる。
第5回 11月11日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(2) 3)ブロックアウト・リリース・ビーディング	<ul style="list-style-type: none"> ・作業用模型の修正(ブロックアウト、リリース)の実習操作を習得することができる。 ・ビーディングの実習操作を習得することができる。
第6回 11月18日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(3) 4)複印象採得 5)複模型製作	<ul style="list-style-type: none"> ・シリコンゴム印象材による印象採得の目的と操作方法について理解することができる。 ・複模型製作の実習操作について理解することができる。
第7回 11月25日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(4) 6)設計線描写 7) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> ・複模型上での金属床外形線の設計線模写について理解することができる。 ・ワックスパターン形成において、クラスプ、隣接面板および小連結子の部分の盛り上げ法による順序、断面形態など実習操作を理解することができる。 ・ワックスパターン形成に用いられるワックスの種類とその設定位置および盛り上げ法による順序、断面形態など実習操作を理解することができる。
第8回 12月2日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(6) 7) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> ・連結子のワックスパターン形成の技術を習得することができる。
第9回 12月9日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(7) 7) ワックスパターン形成	<ul style="list-style-type: none"> ・連結子のワックスパターン形成の技術を習得することができる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第10回 12月16日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(8) 8) 埋没	<ul style="list-style-type: none"> ・スプルー線の植立方法について理解することができる。 ・埋没法について理解することができる。 ・遠心加圧吸引鋳造機による鋳造法について理解することができる。 ・スプルー線の植立方法の技術を習得することができる。 ・埋没法の技術を習得することができる。
第11回 12月23日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(9) 9) 鋳造	<ul style="list-style-type: none"> ・遠心加圧吸引鋳造機による鋳造法について習得することができる。
第12回 1月13日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(10) 10) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・研磨法を理解することができる。 ・電解研磨法を理解することができる。 ・荒研磨について習得することができる。
第13回 1月20日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(11) 10) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・荒研磨について習得することができる。 ・仕上げ研磨を習得することができる。
第14回 1月27日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(12) 10) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・荒研磨について習得することができる。 ・仕上げ研磨を習得することができる。
第15回 2月10日 市川 裕美 他	4. 金属フレームワークの製作(13) 10) 研磨 金属フレームワークの完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> ・研磨を習得することができる。 ・金属フレームワーク完成度を評価することができる。